

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776
E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 41 号

平成16年(2004年)9月



市役所の前で市長さんと記念撮影

六月二十九日に関西国際空港を飛び立ち、約九時間のフライトを経て、バンクーバーに降り立った瞬間から、日本にはない自然の壮大さを肌で感じる事ができました。同市

平成十六年度宇治市カムループス市公式訪問団(市民訪問団十七人と行政訪問団五人の計二十二人。団長は谷口道夫・宇治市教育長)は、六月二十九日から七月三日まで、友好都市のカナダ・カムループス市を訪問。カナダデー式典などの公式行事への出席や市内視察、市民の皆さんとの交流会などを通じて、同市への理解と同市民民との交流を深めました。ここでは、市民訪問団員として参加された、栗原さんにご寄稿いただきました体験記を紹介いたします。

宇治市カムループス市公式訪問団体験記

カムループスへ思いを馳せて…

市民訪問団員 栗原 いづみ

沢さんたちが出迎えてくださいました。

その夜の歓迎レセプションでは、ローゼンバーガー市長さんや市職員の方、宇治市からの留学生の方たちと一緒に食事をしました。

この日は、緊張していたことや英語を自由に操れる自信がなかったため、積極的なお話しができず、「明日からは絶対に自分からたくさんコミュニケーションをとろう!」と心に誓った一日目でした。

◇ ◇ ◇

二日目は、カムループス市内の施設を視察し、夕方には、私たち訪問団がカムループスの皆さんとの友好をより一層深める機会である「公式晩餐会」に出席しました。ここには、市民の方々のほか、カムループス市長さんや議員の方も来られていました。

一つのテーブルに八人が座り、一緒に食事をしながらいろいろなお話を交わしました。

私たちのテーブルでは、奥様が日系人という二組のご夫婦が迎えてくださいました。私は今回が初めての海外旅行だという話をきっかけに、日本での学生生活の様子などを話しました。少し慣れてきたらテーブル全体で日本文化に関する話、それぞれの活動や趣味、仕事、家族の話などが話題に上り、私がつたないながらも知っている英語を駆使して通訳しました。

単語がわからないとき、いろいろな語句を用いて説明すると、向こうの方たちもそれをヒントに私が何を言おうとしているのかを推測し、一生懸命考えてくださって、まるで言葉ゲームをしているような、楽しい場面もありました。

自分の発した言葉が相手に通じ、英語でやりとりができたときは本当に嬉しくて、どんなにいろいろなことを話したくなりました。

そして、地元の小きな子どもたちがカムループスの伝統的な踊りを披露してくれ、また参加者全員が手をつなぎ輪になって踊ったこともあって、本当にみんなが一つになれたように感じました。

〈次ページへ続く〉

三日目の七月一日は、百三十七回目のカナダ建国記念日・カナダデーで、私たちも式典に参加しました。

この日はどこもお祭りムードで、日本では感じたことのない、カナダ国民の愛国心を感じる事ができました。広場には食べ物や手作り品などを売るお店が並び、見るだけでなく、店主と値段交渉するのも楽しかったです。

また、宇治市に「カムループス通り」があるように、カムループス市には「宇治通り」があり、近くには朱色の小さな鳥居や橋もありました。

◇ ◇ ◇

四日目、初めての体験ばかりで、はしやぎすぎたせいか、私は体調を崩し、カムループス日系人協会主催のお食事会には参加できませんでした。

参加された方に伺うと、異国の地でもとても大変な苦労をされたこと、後世に受け継いでいく日本文化とカナダ文化、日本人としてのアイデンティティやカナダ人としてのアイデンティティ、どちらを重視するかという価値観などは、同じ日系人でも様々だということ話をしていたとのこと。私もその場にいてい

んなことを聞いてみたかったと、とても悔やまれます。

◇ ◇ ◇

カムループスを離れるその時まで、カムループスの皆さんには、本当に手厚いおもてなしをしていただき、カナダ・カムループスの文化を感じることもできました。

来年はカムループス市の訪問団が宇治市に来てくださるとのこと。その時は、今回私たちにしていたいた以上に温かいおもてなしをしたいと思っています。

市民訪問団員としてこの旅に参加できて本当に良かったです。

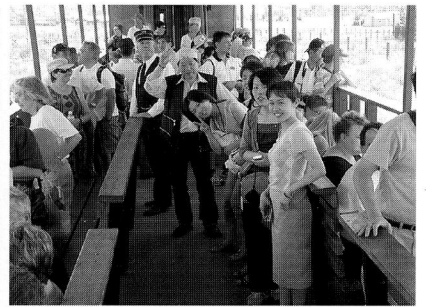
写真でお知らせします カムループス市 訪問団滞在記



カナダデー式典に団員みんなで参加



歓迎会では市民の皆さんと交流



列車に乗って郊外を周遊



カナダデーのケーキカットをする市長（左）と団長（中央）ら



野生公園で珍しいフクロウを見せてもらう栗原さん



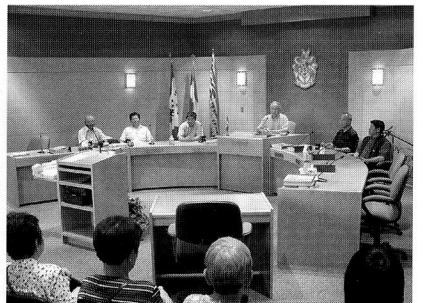
日系人協会を訪問して交流



カナダデー式典会場で騎馬警官と



ゲームをながら楽しく交流



市役所を表敬訪問。中央はカムループス市長

活動報告

又ワラエリヤの移動図書館に本を贈る募金に取り組む

又ワラエリヤの移動図書館に本を贈る会発起人代表 今村周子

この募金は、スリランカダ
ンスサークル、サーリの着付

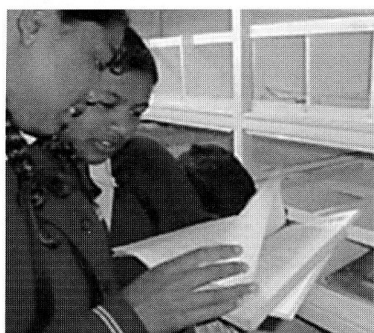
を開き、スリランカ文化を宇治市の皆さんに紹介する活動をしており、市国際親善協会の会員でもある「スリランカ友の会」に参加することを通じ、スリランカへの理解と友好を深めたいと願っている仲間五人で取り組みを始めたものです。

現地の事情もあり、ここ十年近く交流ができませんでした。

そうした中で、昨年九月に今後の交流の進め方を協議するため、宇治市職員が同市を訪問しましたが、それを機会に、同市でJICA（国際協力機構）青年海外協力隊員として活動されている有水史絵隊員から、呼び掛けが届きました。

宇治市は昭和六十一
（一九八六）年四月十二日に、
ヌワラエリヤ市とお茶の縁で
友好都市盟約を結びましたが、

その内容は「日本大使館から車の寄贈を受け、ヌワラエリヤ市役所が毎週四回、市内十二カ所の学校や教育施設を回っている移動図書館は、市中心部から遠い地域に住む



学生や貧しい子供たちにとつて、かけがえのないものです。

しかし、蔵書は不足しており、市の予算は少なく、新しい本はわずかしか買えません。月収二千七千ルピー（二千六百九千百円）程度という家庭が多い現状では、一冊二百五十ルピーする本は高嶺の花です。宇治市の皆さんのご協力をお願いします」というものでした。

スリランカは、五十年前に『憎しみより愛を』と世界で最初に、戦後の対日賠償請求権を放棄してくれた国でもあります。

そこで私たちは、この呼び掛けに答え、スリランカとヌワエリヤ市の未来を築く子どもたちに、平和を愛する人に育ってもらうための小さなお手伝いができればと、教育に欠かせない良い本を贈るために、一人二百円の募金をお願いする「ヌワエリヤの移動図書館に本を贈る募金」活動を始めました。

シールが貼られ贈呈された本を手にする子ども



今年四月から約一カ月間、募金に取り組んだ結果、七万七千円の募金が集まりました。

そこで、次回の活動資金を一部残し、七万円をコロンボのJICA事務所に送金。有水隊員と同市の図書館スタッフとで、三百四十四冊の本を購入してもらい、移動図書館に贈呈することができました。

また、英語で「この本は友好都市である宇治市の市民から贈られました」と記したシールを作って送り、贈呈したすべての本に貼ってもらい

ました。

さらに、シニアボランティアとしてスリランカで活動されている、宇治市民の柳原明彦さんにヌワラエリヤ市までご足労いただき、宇治市民代表として、同市の副市長さんに本を贈呈していただく贈呈式も開いていただきました。

スリランカと日本では、貨幣価値に大きな差があります。

このため、有水隊員のアドバースを得て、現地にとって過大な額とならない、今回程度の高額を目標に、今後も年一回のペースでこの取り組みを続け、宇治市とヌワラエリヤ市の友好交流の発展に、少しでも役立ちたいと願っています。



贈呈式で。中央は副市長。右から2人目が柳原氏、左から2人目が有水隊員

協会ホームページをリニューアル

このたび、会員団体の協力を得て協会ホームページを全面更新しました。長い間、会員の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、おわび申し上げます。

今後は、できるだけ新しい情報をお知らせし、親しんでいただける内容にしていきたいと思っています。会員の皆さんが実施される国際理解事業などのお知らせや参加者募集などにもご利用ください。ご寄稿をお待ちしています。

協会のメールアドレス、ホームページアドレスは、本号第1面最上段の「UIFAニュース」タイトルの下に記載しています。

ヌワエリヤ市の子供たちが 描いた絵を貸し出します

友好都市ヌワエリヤ市の子どもたち(5歳～17歳)が、宇治市の皆さんに自分たちの街や学校を紹介しようと描いて送ってきてくれた絵を展示する「第2回ヌワエリヤ市子ども絵画展」が、7月23日(木)～8月1日(日)の間、中央公民館のロビーで開かれました。

宇治市では、これらの絵を友好都市理解に役立てるため、希望する学校や市民団体などに無料で貸し出しています(営利目的や個人利用は不可)。貸し出し期間は最長7日間です。国際理解活動や国際交流活動の一環に、ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは市秘書課・交際交流担当(電話 20-8701)へ。



宇治市では、これらの絵を友好都市理解に役立てるため、希望する学校や市民団体などに無料で貸し出しています(営利目的や個人利用は不可)。貸し出し期間は最長7日間です。国際理解活動や国際交流活動の一環に、ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは市秘書課・交際交流担当(電話 20-8701)へ。

◎申し込み…当日直接会場へ。参加無料

◎問い合わせ…京都国際センターJICAデスク(電話 075-33657786)へ

◎日時…十月十七日(日)午後二時三十分から

◎会場…ゆめりあうじ(JR宇治駅前) 四階

◎協力隊員募集の「体験談&説明会」が次のとおり開かれます。興味をお持ちの方はお出かけください。

◎日時…十月十七日(日)午後二時三十分から

◎会場…ゆめりあうじ(JR宇治駅前) 四階

青年海外協力隊 募集の体験談& 説明会が開催

望がある場合はお申し出ください。留学生の国籍や話す言葉の指定はできません

◎説明会…応募者を対象に、十月十四日(木)午後七時から、宇治公民館で開催。この時に、引き受けていただく留学生をお知らせします

青年海外協力隊は、国際協力機構(JICA)が実施する政府事業で、世界の開発途上国で現地の人々と同じ生活をしながら、ともに働き、国づくりに貢献する二年間のボランティア活動です。

この協力隊員募集の「体験談&説明会」が次のとおり開かれます。興味をお持ちの方はお出かけください。

◎日時…十月十七日(日)午後二時三十分から

◎会場…ゆめりあうじ(JR宇治駅前) 四階

◎申し込み…当日直接会場へ。参加無料

◎問い合わせ…京都国際センターJICAデスク(電話 075-33657786)へ

雑観雑感

日中国交正常化から三十年余りが経ち、経済的な相互依存が深まった中で、友好増進の舞台となるべきアジア杯サッカー場での出来事は、日中両国の友好交流に携わる私たちにとっては、大変なショックであり、極めて遺憾なことでした。

三カ月前には、大相撲訪中を温かく迎えてくれた光景を見て、相互理解の大切さを痛感したばかりなのに、非常に残念ではありません。

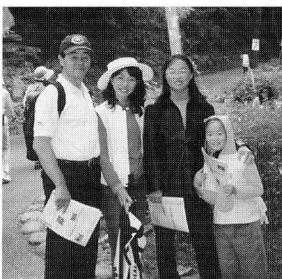
今回の騒動には、歴史的な背景が影響していると思われますが、歴史問題の克服は、正しい歴史認識の上に構築されます。日中友好団体である全国本部(平山郁夫会長)が、今回の言動を批判する見解を出される異例事態となりましたが、これを機に、より一層の文化交流を中心とする民間交流を継続することによって、信頼と和解を築けるものと信じています。

未来を担う若人に、相互交流の大切さと希望を与えることも私たちの役割であり、責任も重いものです。

今後とも変わらぬ連帯と友情を深め、友好の促進を計っていきたく思います。(菱田)

留学生探訪ツアーの ホストファミリー募集中

協会では、市内や近郊に住む外国人留学生に宇治市を紹介し、ホストファミリーと交



留学生、ホストファミリーと一緒に歩きました(昨年度)

流していただくため、一泊二日のホームステイ付きの日程で、留学生宇治市探訪ツアーを実施します。

そのホームステイを引き受け、留学生と交流していただけるホストファミリーを、次のとおり募集しています。問い合わせ・申し込みは、協会事務局へ。

◎実施日…十月三十日(土)

◎受入数…一家庭一～二人。

家族構成などにより性別の希望がある場合はお申し出ください。

◎謝金…食事・ホームステイに要した実費弁償も含め、謝金は一切ありません

◎ホームステイ日程…①三十日(土)午後二時に市役所で留学生を引き取り、以後、翌日の集合まで留学生との自由行動。夕食と翌日の朝食は一緒に。②三十一日(日)午前九時三十分市役所前に集合し、留学生と一緒に宇治十帖スタンプラリーに参加。昼食(協会が提供)後は一緒に平等院見学。その後、現地で解散

◎謝金…食事・ホームステイに要した実費弁償も含め、謝金は一切ありません